

令和4年度 園自己評価表

社会福祉法人 清香会
横浜りとるばんぷきんず
2023年3月30日

園は常に質の高い保育が求められている。

そのために自己評価を通し保育の専門性を見つめる機会として評価を実施し、さらなる保育の向上を目指していく。

【評価指標】

- A … 適正
- B … 一部、改善を要する
- C … 改善を要する

【評価内容】

1、保育理念・目標・計画・評価

内容	評価	意見・改善策
保育理念・目標の関係を理解し、全体の計画を作成している	A	保育所保育指針や全体的な計画をもとに保育の計画を作成している。 園内研修、クラス会議では保育の振り返りをし、より良い保育を実践することが出来るように日々研鑽している。 職一人ひとりと年間で数回の面談をして個別の課題の明確化をしている
全体の計画に基づいた具体的な指導計画を作成している	A	
多様な保育需要に対して地域や保育所の特性を考慮した柔軟な計画を作成している	A	
各年齢の発達段階を理解し、それぞれの年齢にあった指導計画・個々の発達にも留意したものを作成している	A	
保育士は自らの保育実践を振り返り評価し専門性の向上や改善に努めている	A	

2、保育内容

子どもの発達過程やその連続性を踏まえ、保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう必要な事項に配慮して保育をおこなっている	A	子どもの発達・家庭の状況などを把握し、子どもの発育を促せるように職員間でも共有をしている。 子どもが主体的に活動することが出来るように子ども自身が活動を選択できるように同時刻にいくつかの活動に分かれる設定保育を取り入れている。また発達に合わせた室内環境を整えている。
子どもの気持ちを理解し信頼関係を築いている	A	
子ども達が日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に勤めている	A	
身体的、精神的、情緒的発育や家庭環境及び食事習慣など、総合的に多面的に子どもの状態を把握している	A	
行事の計画・実施・評価・改善の体制をとっている	A	

3、園の組織・役割分担

内容	評価	意見・改善策
豊かな集団の育成を目指したクラス経営が進められ、各クラスの連携が円滑に行われている	A	法人研修・園内研修などを行い、職員の専門性・人間性を高めていけるように努めている。研修内容も多岐にわたり、さまざまな視点からの成長を促している。 消防署など各施設とも連携を取り、毎月の訓練や不審者訓練を行っている。
保育に関わるさまざまな知識や技術の向上に努め研修に参加し、自己研鑽を積んでいる	A	
全職員は施設内外の環境維持向上に努め、安全策の共通理解や体制づくりに努めている	A	
職員間で報告・連絡・相談の体制が機能している	A	
火災・地震・不審者侵入などの危機管理に努めている	A	

4, 家庭・地域社会

家庭と連携を図るように努めている	A	登降園の中で口頭や連絡帳で家庭と連携をとり、必要に応じて関係機関・地域と連携を図り、園運営が行えるようにしている。 子育て講座や子育て支援を毎月設け、在園内外の子ども・保護者に向けた活動を行っている。
関係機関と連携を図っている	A	
地域や保護者の意見を施設運営に反映している	A	
地域の子育て家庭に対し情報発信をしている	A	

5, 事務管理・運用

個人記録簿は適切に記載し整理保管している	A	事務室のみで持ち出し厳禁の書類や鍵のかかる棚に必要な書類は保管している。また、守秘義務について、毎年、職員研修を行っている
職員に園内で知りえた事柄に対しての守秘義務の周知徹底をしている	A	
各種会計を適正かつ適切に処理している	A	

6, 情報発信

園だより、クラスだより、給食だより、ホームページなどで施設の情報を発信している	A	園だより・ブログ・登降園管理システムを使用し、園での様子が写真・文字で発信をしている
---	---	--